

## 長浜市 DX 実証実験プロジェクト事業

### [個別応募テーマ]

#### 本市が個別に設定するテーマの一覧

| No. | テーマ名                  | テーマの要点  |
|-----|-----------------------|---|
| 1   | 女性のスキルを生かす「新しい働き方」の支援 | <p>[解決したい課題]</p> <p>家庭（育児・介護等）と仕事の両立の難しさから自分のスキルを生かした働き方が思うようにできていない女性がいる。一方で、企業は人材不足が解消できずにいる。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>時間の制約を受ける女性が、自身のニーズに合った働き方を実現できることで、収入と社会貢献の機会が得られる仕組みを構築し、女性の活躍を推進する。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>子育てや介護等のために、時間的制約がある女性を主な対象として、企業から受注した仕事をチームを組んで行うビジネスモデルにデジタル技術を導入し、効率化と利用者の拡大を図る。</p>           |
| 2   | 自治会活動の活性化・自治会運営事務の効率化 | <p>[解決したい課題]</p> <p>多くの自治会では、高齢化や人口減少による活動の低下や役員のなり手不足により、特に役員等の負担が増大している。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>自治会活動の活性化や運営事務の効率化、利便性のより一層の向上を図る。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>自治会における人口規模や高齢化、地理的要因等の状況により、地域コミュニティのあり方はさまざまであることから、市から一律に全自治会に強制するのではなく、モデル事業として実施した事例を情報共有することで事業者と自治会との橋渡しを行い、自治会自らが意欲をもって DX 化を推進できるような制度設計を検討する。</p> |
| 3   | ゴミの分別・収集のサポートシステムの構築  | <p>[解決したい課題]</p> <p>家庭ごみの収集に関するごみの分別方法や収集日程の周知が徹底されていない。また、非常時（自然災害等）における自治会等への連絡体制が整っていない。</p> <p>[実現したい目標]</p>  |

|   |                           |   |
|---|---------------------------|---|
|   |                           | <p>市民へごみの分別や収集日の把握や、平常時・非常時（自然災害等）の周知・連絡体制の強化を図る。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>様々なデジタルコミュニケーションツールを組み合わせ、評価し、最適な手段を選定する。</p>   |
| 4 | 地球温暖化防止対策の推進              | <p>[解決したい課題]</p> <p>市民、市内事業者の省エネ行動による効果が分かりづらい。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>地球温暖化防止のため、省エネ行動の見える化を実現する。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>市民・市内事業者に対し、省エネ行動による温室効果ガス削減量等の情報を提供する。</p>   |
| 5 | 市内の希少野生動植物種の面的把握データベースの確立 | <p>[解決したい課題]</p> <p>市内の動植物種の希少種などの把握がされておらず、開発計画などの段階で、初めて問題として提起されることがある。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>市内の守らなければならない動植物種を面的に把握する。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>本市が学識経験者と連携した情報収集の場を創出し、それをもとにして市内を面的に把握・活用する技術を確立する。</p>                                       |
| 6 | デジタル技術を活用した施設園芸における作業の効率化 | <p>[解決したい課題]</p> <p>施設園芸の栽培管理における手技や作業には、専門的な知識や経験が必要で、非熟練者にとってハードルが高い。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>非熟練者であっても作業の対象箇所や手順が的確になることで、人手不足の解消、施設園芸に取り組む農家の増加につなげる。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>市内の施設園芸農家と事業者等が連携し、ローカル5Gやスマートグラス等を活用した各種デバイスの操作性や技術による効果を検証する。</p> |
| 7 | デジタル技術を活用した直売所出荷農家の所得向上支援 | <p>[解決したい課題]</p> <p>市内直売所における農産物等の日々刻々の売れ行きを生産者が把握できておらず、店内に客がいるにも関わらず農産物は品切れ状態となり、生産者は販売機会を逃している。</p> <p>[実現したい目標]</p>   |

|    |                     |  |
|----|---------------------|--|
|    |                     | <p>販売機会損失を防ぎ、農家の所得・生産意欲の向上につなげる。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>市内直売所や生産者に専用端末やアプリ等を導入し、それによる効果を評価分析する。</p>   |
| 8  | 獣害対策における負担軽減        | <p>[解決したい課題]</p> <p>鳥獣による農作物被害額の推移は、年々減少傾向にあるものの、獣害対策に取り組む地域住民の負担が増加している。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>地域住民が行う防護柵の維持管理やニホンザル等の追い払い活動の効率化・負担の軽減を図る。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>本市から地域に実証への参加を呼びかけ、仕組みの導入と効果の検証を行う。</p>  |
| 9  | 観光宿泊施設と連携したデータ収集と分析 | <p>[解決したい課題]</p> <p>地域全体の旅行者のデータを収集するには手間がかかるため、十分なデータがなく、分析・活用が進まない。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>市・観光協会、地域、観光関係事業者が情報を共有し、地域の強み・弱みを把握した上で、旅行者の属性やニーズに基づいた戦略や意思決定を行う。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>来街者数のデータ（本市商工振興課が保有）や宿泊者数（なるべく事業者の負担にならないように属性を収集）などをクロス集計し、分析するためのプラットフォームを構築し、戦略立案に活用できるか評価する。</p> |
| 10 | 車利用の観光客の利便性向上       | <p>[解決したい課題]</p> <p>観光客の移動手段は自家用車など車両が多い中、市街地に点在している駐車場の空き状況をリアルタイムで確認することができず、不便な状況である。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>車利用の観光客の利便性を向上させる。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>本市が各駐車場のオーナーに実証への参加を要請し、必要な作業を依頼する。観光客に対しては満足度調査を行い効果を検証する。</p>  |
| 11 | 市内周遊観光の充実化          | <p>[解決したい課題]</p>   |

|    |                        |   |
|----|------------------------|---|
|    |                        | <p>市域が広大、かつ各交通機関との接続の不便性などが原因で、公共交通機関を利用した市内観光は不向きである。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>観光の目的に沿った移動手段（鉄道・バス・タクシー・レンタサイクルなど）を選択・案内・提供できるようにし、市内周遊観光を充実させる。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>実証で構築した仕組みを観光客に使ってもらい、満足度調査によって効果検証する。</p>   |
| 12 | 歴史資源の情報発信強化による来訪意欲の向上化 | <p>[解決したい課題]</p> <p>来訪意欲を増進させるためのコンテンツなどをさらに充実させる必要がある。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>歴史資源の情報発信を行うことで、来訪意欲を高め誘客につなげる。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>本市から歴史資源の情報を提供し、デジタルコンテンツを作成する。観光客に対する満足度調査によって効果検証する。</p>  |
| 13 | 屋外広告物管理情報システムの構築       | <p>[解決したい課題]</p> <p>屋外広告物について、申請手続きが取られていないものや、基準違反となっているものが多く存在する。現在、申請内容は表計算ソフトで、広告物の詳細（図面等）は紙で保管しており、膨大な量となっている。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>設置されている屋外広告物を把握するとともに、申請・審査を効率化・適正化する。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>設置されている屋外広告物を撮影し、画像データから位置やサイズ（面積・高さ・マンセル値等）の情報を分析しデータベース化することで、申請・審査が効率化・適正化できるか検証する。</p> |
| 14 | 公共インフラの維持管理における予防的対策   | <p>[解決したい課題]</p> <p>特に 1960～70 年代に整備された市の公共インフラの多くは老朽化が進んでおり、今後、補修・更新需要が増加し、その時期も集中する。</p> <p>[実現したい目標]</p>   |

|    |  |  |
|----|--|--|
|    |  | <p>限られた財源の中でコストの縮減、各種公共インフラの長寿命化を図るため、予防的な対策を行う。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>公共インフラの老朽化や不具合等の状況把握を正確にかつスピーディーに行えるか検証する。</p>  |
| 15 | 降雪予測シミュレーションや各地降雪状況速報の各除雪班の出動判断での運用              | <p>[解決したい課題]</p> <p>除雪出動判断の最適化ができておらず、職員の負担が過大となっている。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>除雪出動の基準となる降雪時間の把握または降雪量の予測ができる。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>降雪予測と降雪観測機器等を連動させて、各地区降雪量の現状を把握し算出された出動時間が適切かを検証する。</p>  |
| 16 | 相談内容を録音・テキスト化するとともに、AIによる相談内容の分析・判断              | <p>[解決したい課題]</p> <p>相談員の人材不足、案件の複合化・複雑化、相談件数が増加する環境の中で、相談記録作成作業の負担が大きく、関係機関との情報共有や他案件のナレッジ活用ができていない。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>メモを取るよりも傾聴することに重点を置き、かつ短時間で相談記録を作成することにより、関係機関への情報共有を迅速化・的確化する。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>庁内の相談窓口において録音したデータを活用し、関係機関が有効に協働できるか検証する。</p>                    |
| 17 | しょうがいのある方等の外出時における公共施設、交通結節拠点、観光地へのバリアフリー経路情報の提供 | <p>[解決したい課題]</p> <p>車イスで移動される方、視覚しょうがいの方へのバリアフリー情報だけでなく、高齢になって筋力や体力に衰えを感じている方やベビーカーを利用する子ども連れの方への情報や、外国人の方への言語対応の情報など、総合的なユニバーサルデザインマップが作成できていない。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>社会における障壁を取り除き、容易に外出や活動ができる環境の構築を目指す。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>本市が市民協働のプラットフォームを作り、情報の充実・更新を図るとともに効果を検証する。</p> |

|    |                                    |   |
|----|------------------------------------|---|
| 18 | 心身の発達に支援を必要とする人たちの「相談支援ファイル」のデジタル化 | <p>[解決したい課題]</p> <p>心身の発達に支援が必要な人に関する乳幼児期からの相談内容や支援情報は紙媒体で管理しており、膨大な量の保管や持ち運びに不便が生じている。また、文章表記では支援内容の具体的なイメージが持ちにくいために、活用されない現状がある。以上のことから、支援情報をわかりやすく伝え、適切な支援を十分に行えていない。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>支援を必要とする人に、必要な情報を困難なく伝えることができる。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>現存する紙の情報をデジタル化し、必要な経過や支援情報を検索でき、文字だけでなく写真や動画なども追加できるようにし、市民モニターで効果検証する。</p> |
| 19 | がん検診の受診率向上                         | <p>[解決したい課題]</p> <p>がん検診の受診率が低い。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>がん検診の受診率を向上させる。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>AI活用等により過去の受診者情報を分析し、効果的な受診勧奨（文書作成など）を行い、市が実施するがん検診会場において受診率が向上したかどうかを検証する。</p>  |
| 20 | アプリ等を用いた食事の摂取量、栄養バランスの可視化          | <p>[解決したい課題]</p> <p>市民は、自身の食事量や栄養バランスを簡単に把握し適正な量やバランスとの違いを確認することができないため、行動変容につながりにくい。市販アプリは摂取量の入力が必要で、実践のハードルが高い。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>市民一人ひとりが摂取すべき食事量や栄養バランスが簡単に分かるようにし、子どもや高齢者などでも簡単に理解できるようにすることで、行動変容を促す。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>市民モニターを募集し、行動変容につながったかを検証する。</p>  |
| 21 | AIを活用したゲートキーパーの養成・レベルアップ事業         | <p>[解決したい課題]</p>  |

|    |  |  |
|----|--|--|
|    |  | <p>ゲートキーパーのレベルアップには対人によるロールプレイが非常に効果的であるが、人や時間の問題から簡単に実施できない。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>一人でもロールプレイができ、スキルアップが図れる環境(AIによるシュミレーション等)を整備する。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>通常どおり対人でロールプレイを行った場合と提案手法によりロールプレイを行った場合で、相談技術の習得やゲートキーパーとしての技能習得(レベルアップ)に差異があるか検証する。</p>   |
| 22 | AIを活用したケアプラン作成システムを構築し、システムを活用することで市民の健康寿命の延伸を図る | <p>[解決したい課題]</p> <p>要支援者の介護予防や重度化防止に資するエビデンスに基づいた支援や個人に応じた資源の活用を盛り込んだケアプランを作成し、より一層のケアプランの質の向上を図る必要がある。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>総合事業や介護サービスだけでない介護予防ケアプランを作成することによって、要介護にならない高齢者が増える。要介護となる期間をできるだけ短くし、市民の健康寿命が延伸する。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>AI活用等により、地域包括支援センター及び介護予防支援事業所の過去のケアプランのデータからより最適なケアプランを作成し、地域包括支援センター及び介護予防支援事業所においてその精度を検証する。</p> |
| 23 | 災害対策本部における情報収集と各方面体制との情報共有                       | <p>[解決したい課題]</p> <p>災害対応時に市内各所で発生している事案や対応状況について、市災害対策本部の構成者における情報共有の強化・高度化が必要である。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>市内各所で発生し対応している状況をリアルタイムで把握し、本部と地域班の効果的な連携に基づくパトロールや災害対応に反映させることができる。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>過去に発生した事案や将来発生し得る事案をもとにして、関係者にリアルタイムな情報共有ができる技術を検証する。</p>  |

|    |                                     |   |
|----|-------------------------------------|---|
| 24 | 消雪水源施設の遠隔管理システムの構築                  | <p>[解決したい課題]</p> <p>本市北部地域の消雪水源施設64施設(水源も河川水消雪、地下水消雪、ポンプ槽の有無など多様)において、各施設の水位計等設備が老朽化等により故障し、その都度施設の点検に伴う業者委託が必要な状況にある。山間地域などに点在する施設のため、状況把握に時間を要し、経費も増大傾向にある。</p> <p>[実現したい目標]</p> <p>各施設の水位計の情報を遠隔で一括管理(ポンプ稼働などの操作も可能)することにより、状況把握の迅速化と経費の削減を実現したい。</p> <p>[検証したい事項]</p> <p>遠隔管理と操作が迅速かつ適正に行えるか、設備や委託にかかる費用対効果が向上するか、検証する。</p> |
| 25 | 本市の地域課題の解決や市民生活の質の向上に資する事業提案(フリー提案) | -   |